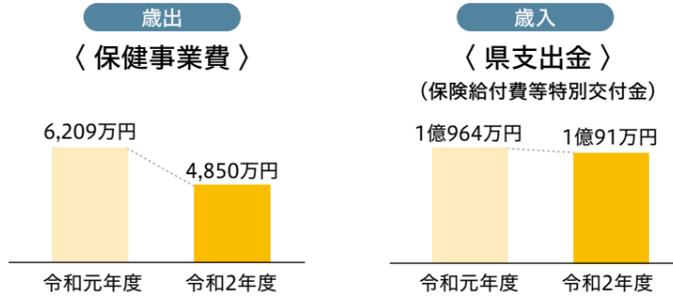


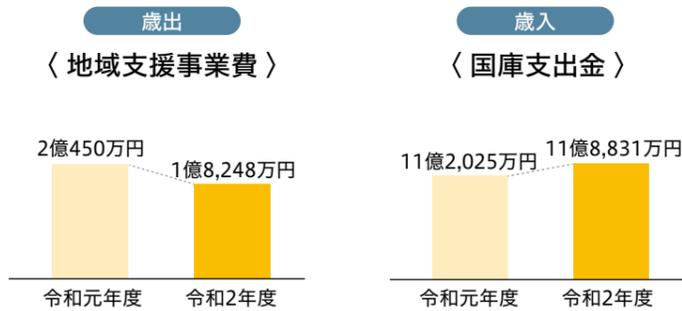
Pick Up! 主な増減理由

国民健康保険特別会計



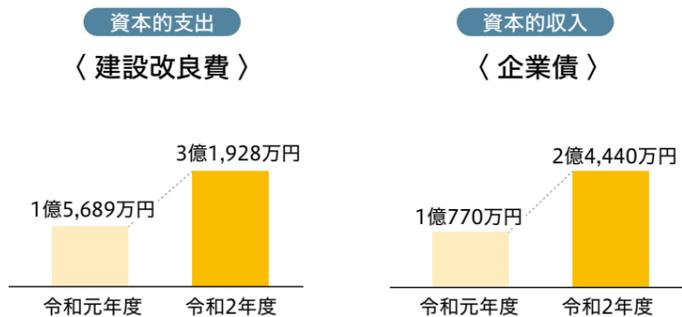
●新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、事業の一部中止や延期などで、保健事業費(歳出)が減少しました。それに伴い、県からの交付金(歳入)も減少しました。

介護保険特別会計



●新型コロナウイルス感染症の影響でデイサービス、ショートステイの利用の減少などで地域支援事業(歳出)が減少しました。  
●施設給付費に係る国、県の負担金(歳入)が増加しました。

水道事業



●小原浄水場除マンガン施設を新設したことで、企業(収入)の発行や建設改良費(歳出)が増加しました。

令和2年度 決算のポイント

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の感染防止対策や各種給付金の支給、感染症の影響を受けた事業者などへの支援を行いました。また、採算が見通せない田んぼアート公園整備を中止するなど事業の見直しも行いました。

今後も、歳入では自主財源の確保、歳出では全体最適を意識した事業の見直しを進め、財政の健全化に取り組んでいきます。

[ 特別会計 ] 特定の目的のための会計で、国民健康保険税など特定の収入があり、一般会計から切り離して、その収入・支出を処理する会計です。

区分	決算額	対前年度		
		増減額	増減率	
国民健康保険特別会計	歳入	31億2,510万円	-4億5,592万円	-12.7%
	歳出	30億3,558万円	-4億6,430万円	-13.3%
	実質収支	8,952万円	838万円	10.3%
後期高齢者医療特別会計	歳入	4億9,001万円	1,875万円	4.0%
	歳出	4億7,934万円	1,848万円	4.0%
	実質収支	1,067万円	27万円	2.7%
介護保険特別会計	歳入	46億2,598万円	3,728万円	0.8%
	歳出	44億6,862万円	-4,406万円	-1.0%
	実質収支	1億5,736万円	8,134万円	107.0%
公共下水道事業特別会計	歳入	令和2年度から下水道事業へ移行しました。	-2億7,207万円	-
	歳出		-2億6,092万円	
	実質収支		-1,115万円	
特定環境保全公共下水道事業特別会計	歳入		-8億2,367万円	-
	歳出		-7億7,844万円	
	実質収支		-3,148万円	
農業集落排水事業特別会計	歳入	4億7,665万円	-3,504万円	-6.8%
	歳出	4億7,575万円	-3,480万円	-6.8%
	実質収支	90万円	71万円	363.7%
浄化槽整備事業特別会計	歳入	3億2,640万円	-1,221万円	-3.6%
	歳出	3億2,623万円	-1,221万円	-3.6%
	実質収支	17万円	0万円	3.9%
コミュニティ・プラント整備事業特別会計	歳入	598万円	-410万円	-40.7%
	歳出	594万円	-401万円	-40.3%
	実質収支	4万円	-9万円	71.8%
合計	歳入	90億5,012万円	-15億4,698万円	-14.6%
	歳出	87億9,146万円	-15億8,026万円	-15.2%
	実質収支	2億5,866万円	4,798万円	22.8%

※ 実質収支…歳入から歳出と翌年度に繰り越すべき財源を差し引いたもの

[ 公営企業会計 ] 主に利用者の皆さまの料金収入で事業を行う、地方公営企業法の全部、または一部の適用を受ける公営企業の会計です。

区分	決算額	対前年度			
		増減額	増減率		
下水道事業	収益的	収入	8億3,064万円	8億3,064万円	-
		支出	6億8,770万円	6億8,770万円	
	資本的	収入	4億2,309万円	4億2,309万円	
		支出	6億6,756万円	6億6,756万円	
水道事業	収益的	収入	9億3,640万円	-4,174万円	-4.3%
		支出	9億2,636万円	-1,209万円	-1.3%
	資本的	収入	2億8,791万円	1億4,634万円	103.4%
		支出	6億885万円	1億8,043万円	42.1%

※ 収益的収入・支出…一事業年度の企業の経営に伴い発生する収益(料金など)や、費用(人件費や物件費など)

※ 資本的収入・支出…企業の将来の経営に備えて行う施設の建設などの費用(工事請負費など)や、その財源となる収入(企業債など)

※ 消費税および地方消費税を含みます。 ※ 資本的収入額が資本的支出額に対して不足する額は留保資金などで補てん。